

〔農産物直売所部門〕

道の駅富士川

所在地 南巨摩郡富士川町青柳町1655-3
 運営者 株式会社富士川 代表取締役 居村 一彦
 設置者 富士川町
 参加農家数 576名

(直売所の成り立ち)

道の駅富士川は、道路利用者への快適な憩いの場を提供するとともに、観光情報及び地域情報の発信等による地域住民と来訪者との交流を促進し、地域の特産品の展示及び販売による地域産業の振興に資することを目的として、平成26年7月に開設された。道の駅内の農産物等販売施設は、地元富士川町のほか周辺地域の生産者が作った農産物が豊富に揃う地産地消・地産訪消の一大拠点となっている。

(直売所の特徴)

道の駅富士川は、甲府盆地の南西部に位置し、国道52号及び中部横断道増穂ICにも近接するなど交通の要衝にある。農産物等販売施設は、周辺住民や道路を利用する観光客など多くの来訪者に利用されている。道の駅富士川では、施設の機能を有効活用し、来訪者を楽しませる様々なイベントに取り組んでいる。また、各種カード決済などの電子マネーの導入や大手ポイントカードの導入、贈答品の発送に対応するなど、利便性の高い店づくりに努めている。

(安全・安心で新鮮な農産物の提供と消費者との交流及びニーズに応えた売場づくり)

生産者を対象にした「農産物出荷者会議」を毎年実施し、栽培や出荷の際の注意事項を周知徹底することで、出荷される農産物の品質を保つ取組みを行っている。店内では、試食の提供、ポップでの商品説明の設置、品種毎の特長を説明するパネルを掲示するなど消費者がそれぞれの農産物について理解を深めやすい工夫をしている。また、5～12月の毎週日曜には朝市、第3日曜には軽トラ市を開催するなど生産者による対面販売を行うことで、消費者に顔の見える交流の場を提供している。軽トラ市に当たっては、周辺地域に折り込み広告を入れるなど集客にも力を入れている。



(店舗外観)



(来訪者で賑わう店内)

活動経緯	評価
平成26年 開設	平成26年の開設以降、売上額、利用者数ともに継続的に伸ばしてきた。 恵まれた立地条件と充実した施設の機能を活かしながら、多数のイベントを開催するなど、魅力的な店づくりに努め、地産地消、地産訪消の拠点として大きな役割を果たしている。 利用者は、地域住民と観光客が概ね半々で、地域住民にとっても観光客にとっても魅力ある農産物直売所として高い支持を受けている。 このように、道の駅富士川は、他の模範となる農産物直売所であり、今後も更なる発展が期待される。